

2011年3月期 決算説明資料

2011年5月16日

証券コード: 4793

株式会社富士通ビー・エス・シー

この度の東日本大震災により被災された皆様に心より
お見舞いを申し上げます。

当社における人的被害および当社設備等への被害状況
は軽微なものです。データセンターにつきましても現状で
地震による影響はなく、安定稼働を続けております。

当社はお客様はじめ地域の復興に対し、最大限の努力を
はかってまいります。

- 2011年3月期 決算概要
- 主要な事業の状況
- トピックス
- BCLについて
- 配当について
- 事業展開のキーワード

2011年3月期 決算概要

2011年3月期 決算総括



()は前年比 % 単位:百万円、%

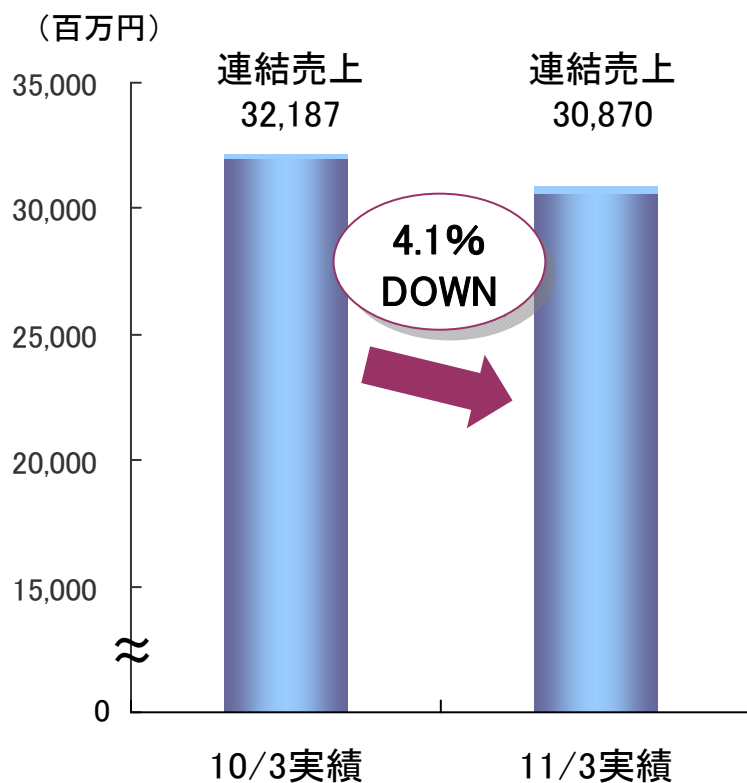
決算期	10/3	11/3	
		公表 (10.4.28)	実績
売上高	32,187 (△4.8)	33,000 (△2.5)	30,870 (△4.1)
営業利益	2,231 (△0.9)	2,400 (7.6)	2,322 (4.1)
経常利益	2,020 (△1.4)	2,450 (21.3)	2,365 (17.1)
特別損失 ※	—	—	183
当期純利益	1,147 (△2.0)	1,350 (17.6)	1,275 (11.1)
純資産額	17,060	—	18,022
総資産額	29,929	—	31,411
1株当り当期純利益(円)	97.26	—	108.06
1株当り純資産(円)	1,438.40	—	1,520.62
売上高営業利益率	6.9	—	7.5
株主資本比率	56.7	—	57.1
1株当り配当金(円)	25.0	25.0	26.0

※東日本大震災による損失69百万円及び資産除去債務影響額113百万円を特別損失に計上

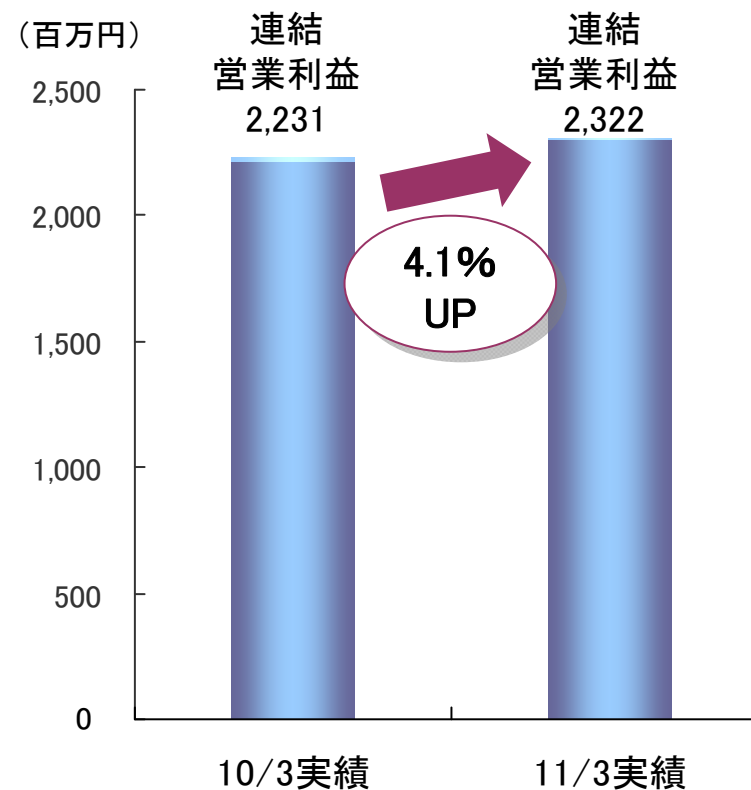
売上・利益の経年比較

■ 売上4.1%減となるも収益改善努力が奏功、利益は4.1%の増加

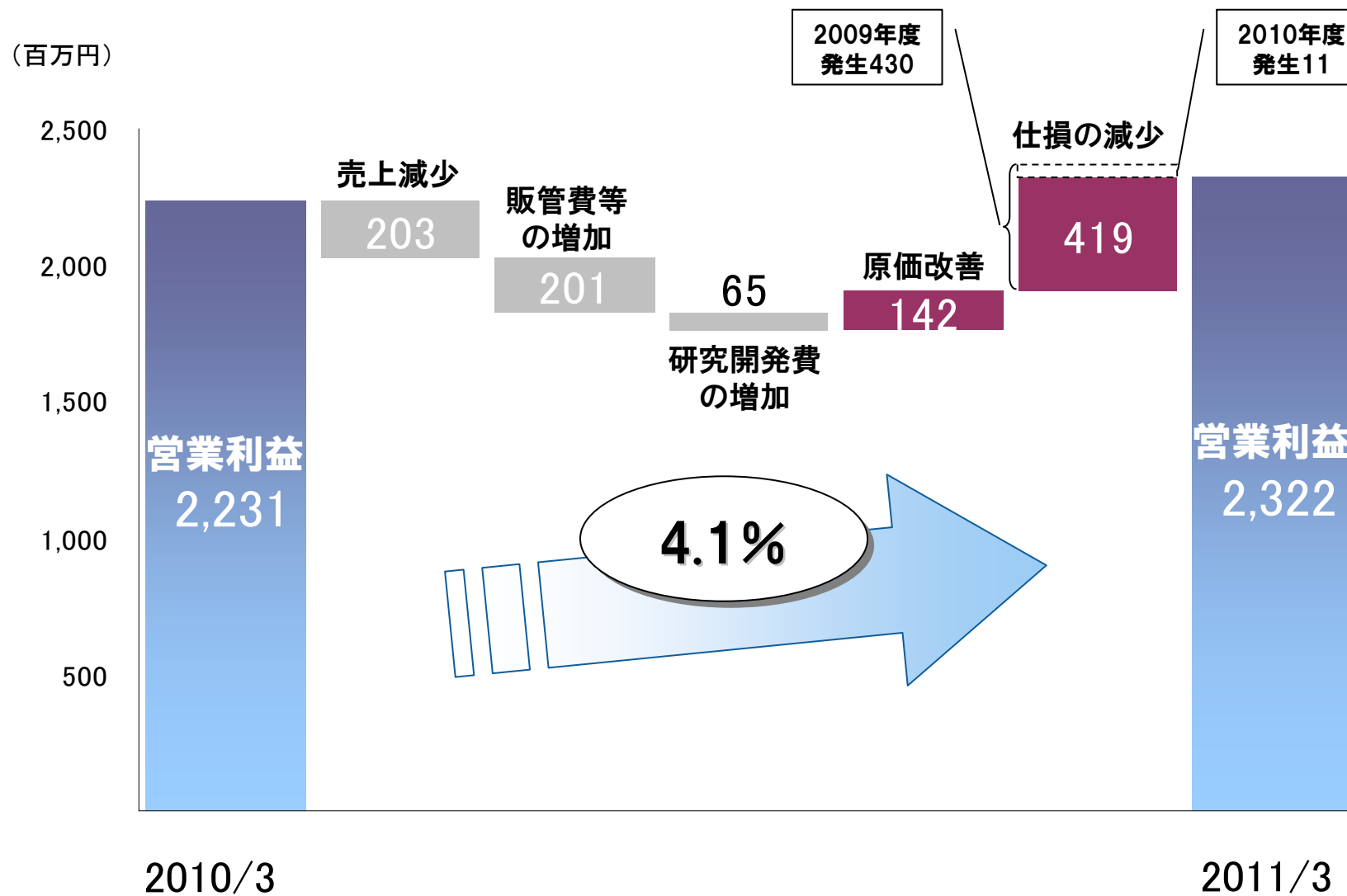
売上



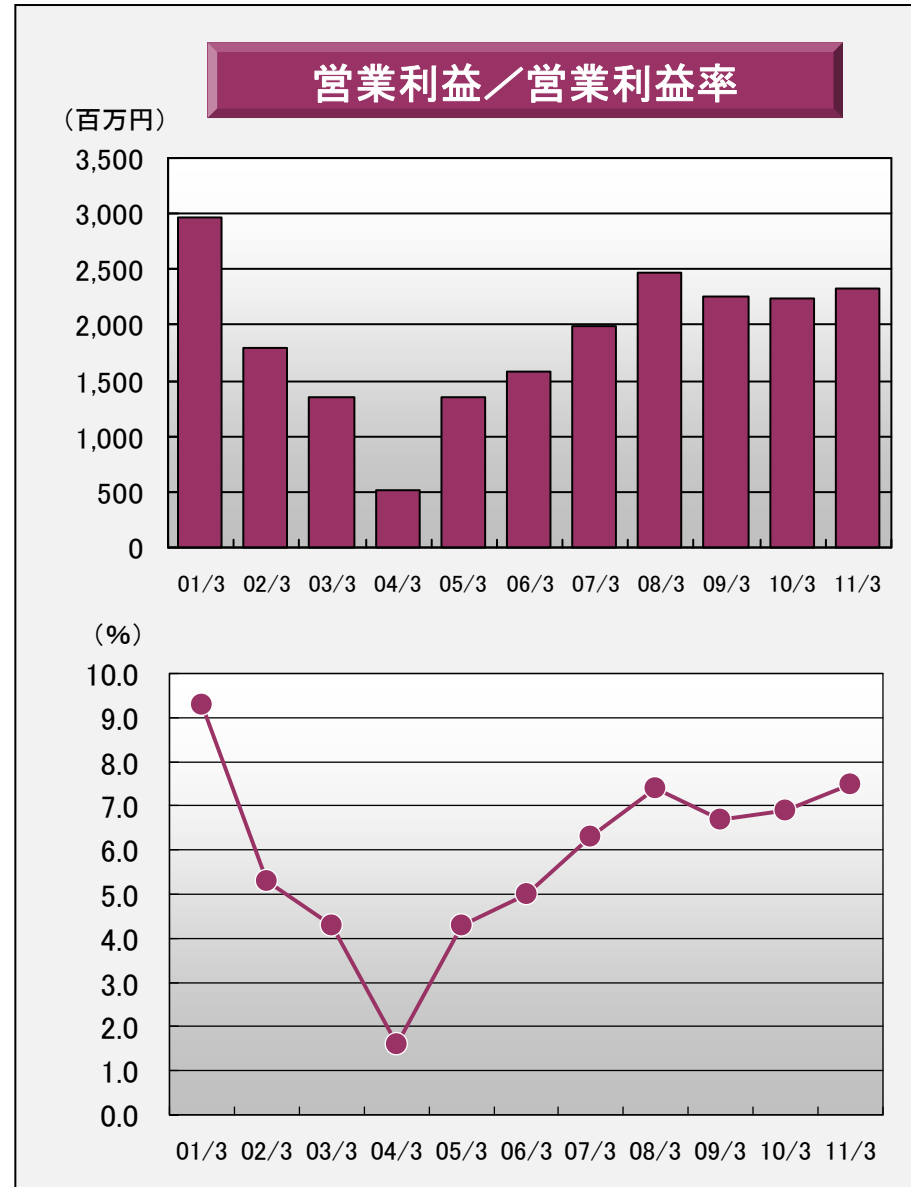
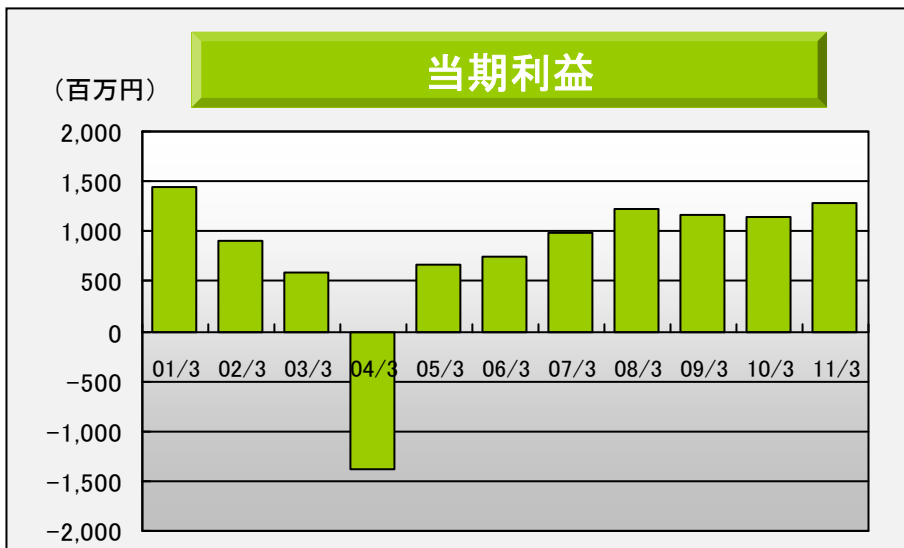
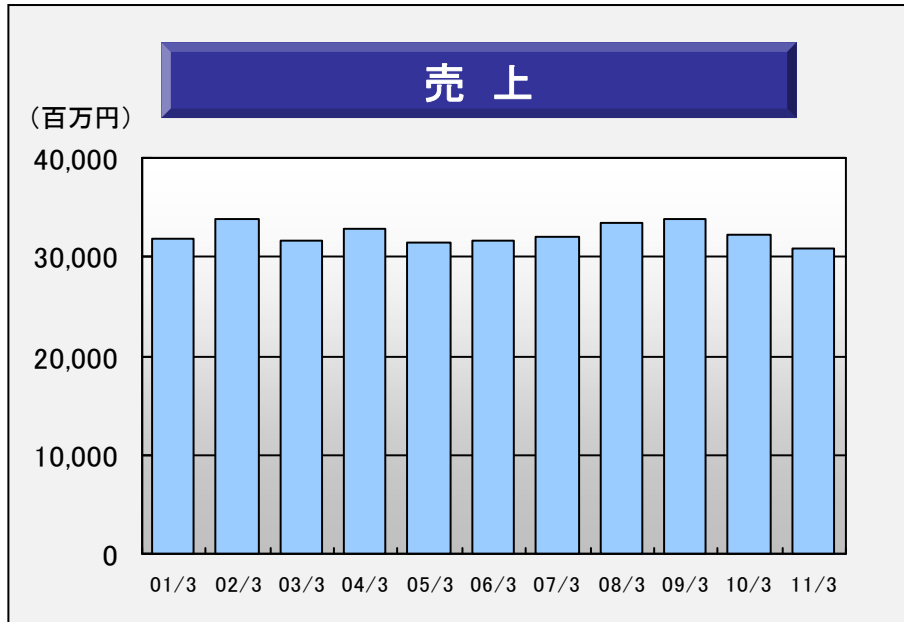
営業利益



営業利益の前年同期比増加要因



業績の推移 2001/3~2011/3



※08/3以前は個別数字。

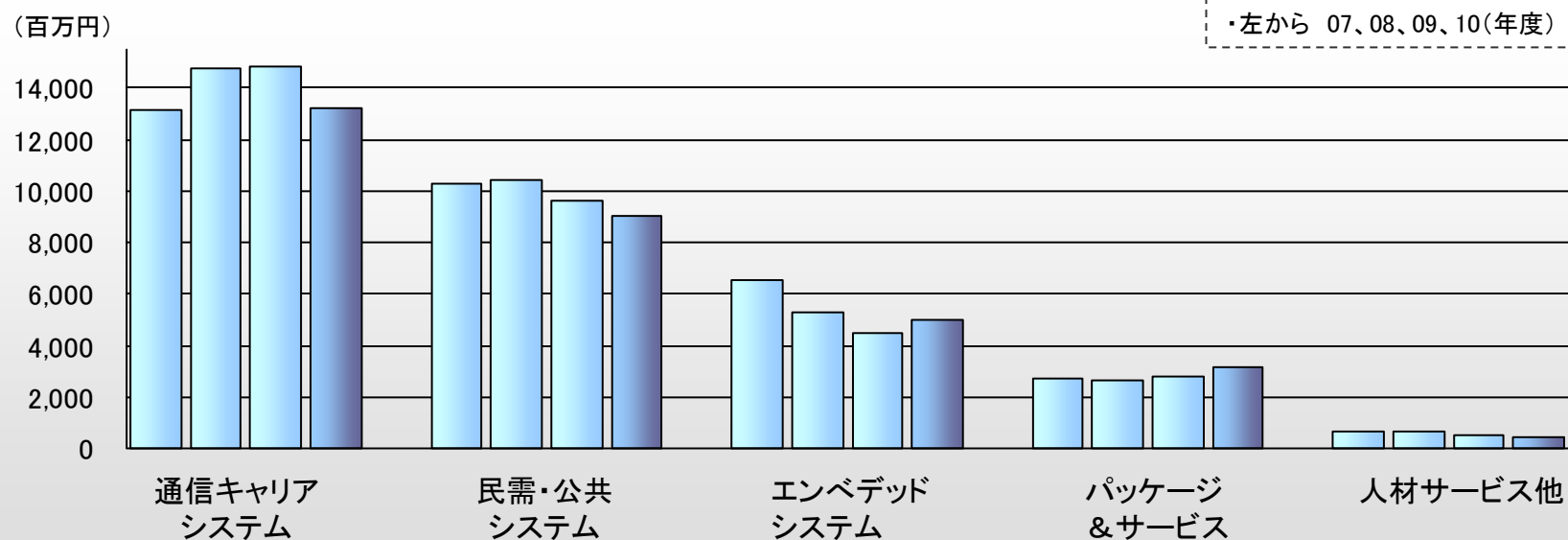
事業区分(本部)別の売上状況



■ 通信キャリア・民需 公共システム等のSI減少。
エンベデッドシステム、パッケージ&サービス増加

(百万円、%)

決算期	2010/3		2011/3		前年比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
合計	32,187	100.0	30,870	100.0	△ 4.1
通信キャリアシステム	14,813	46.0	13,221	42.8	△ 10.7
民需・公共システム	9,632	29.9	9,006	29.2	△ 6.5
エンベデッドシステム	4,461	13.9	5,008	16.2	12.3
パッケージ&サービス	2,781	8.6	3,163	10.2	13.7
人材サービス他	497	1.5	469	1.5	△ 5.6



※2009年4月、2010年4月に事業区分の見直しを行っており、一部を現区分に組替えております

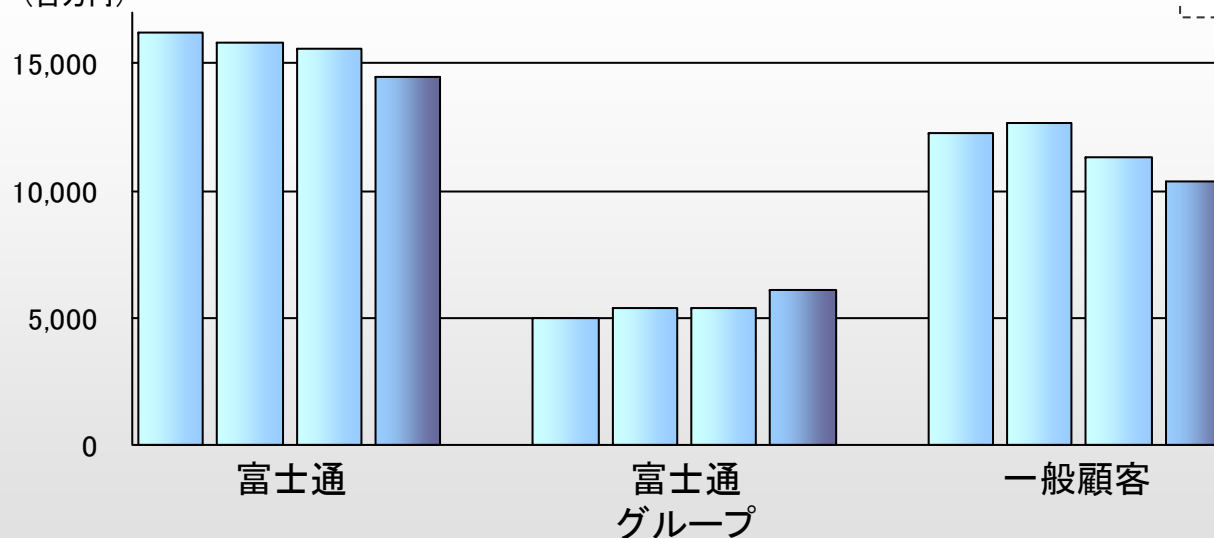
顧客別売上



(百万円、%)

決算期	2010/3		2011/3		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
合計	32,187	100.0	30,870	100.0	△ 4.1
富士通	15,546	48.3	14,438	46.8	△ 7.1
富士通G	5,342	16.6	6,059	19.6	13.4
小計	20,889	64.9	20,498	66.4	△ 1.9
一般顧客	11,297	35.1	10,371	33.6	△ 8.2

(百万円)



■ エンベデッドシステムを中心とした民需の売上減少に伴い一般顧客の割合減少

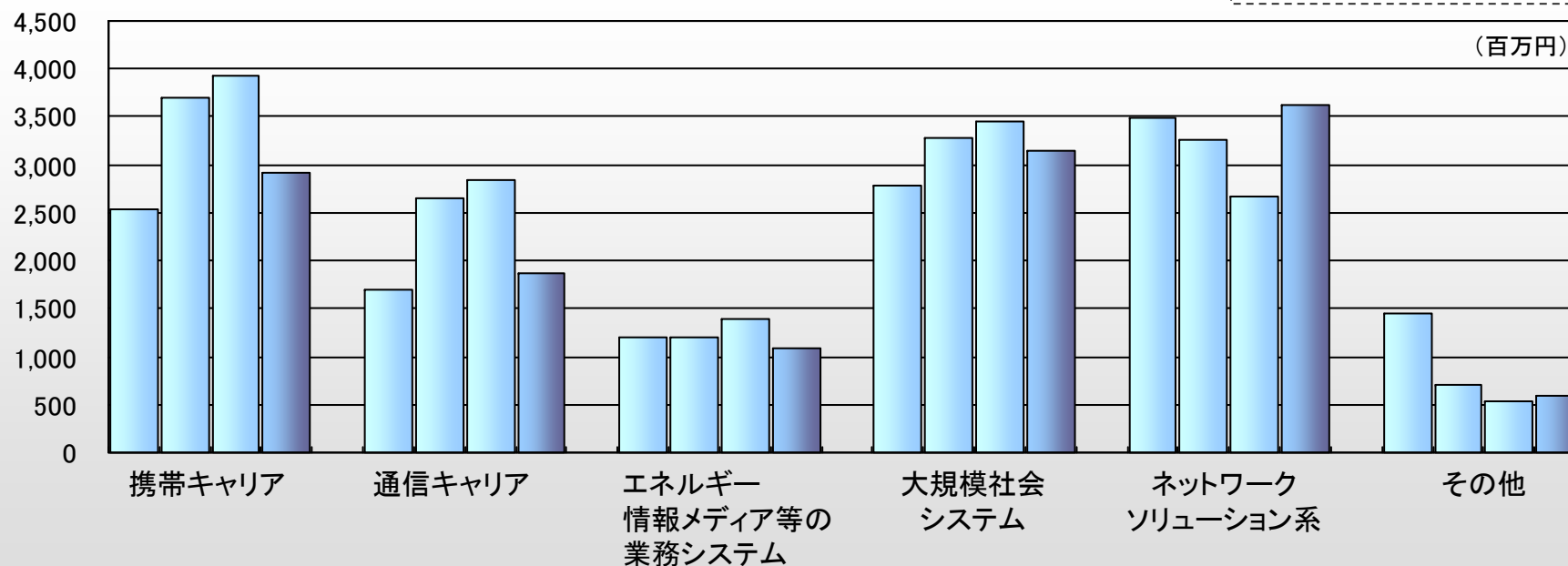
主要な事業の状況

通信キャリア系システム<業態別売上>



売上実績・予想

・左から 07、08、09、10(年度)



※2009年4月に事業区分の見直しを行っており、一部を現区分に組替えております

- 携帯キャリア、通信キャリアの大規模SIが一巡。ノウハウを活かせる他分野への展開。
- ネットワークソリューション系の関連技術を活かすスマートグリッド、ホームICT案件に期待。
- 大手通信キャリアでTopjax Solutionを適用。メンテナンスや派生商談を取り込むほか、他業種へも横展開

※ Topjax Solution: 富士通の開発フレームワーク

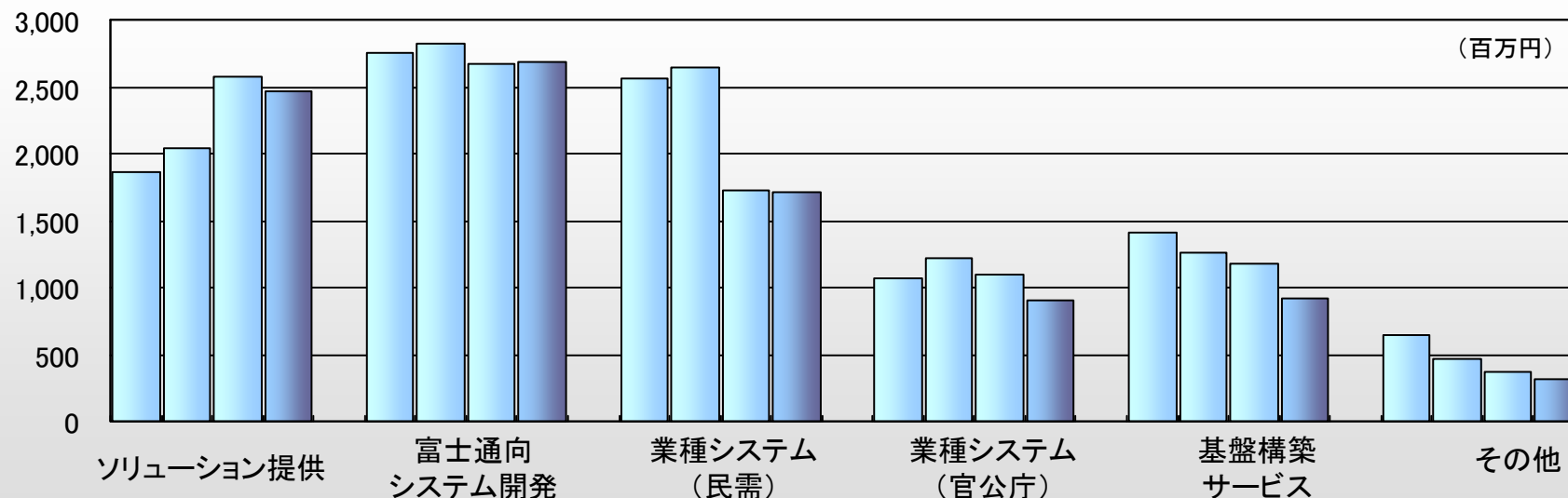
当社固有技術 (Topjax Solution、Oh-Pa 1/3) を活用、付加価値のあるビジネスを追求

民需・官公庁系システム<重点テーマ別売上>



売上実績・予想

・左から 07、08、09、10(年度)



※2009年4月、2010年4月に事業区分の見直しを行っており、一部を現区分に組替えております

- **ソリューション提供**
建設(CAP21)、医療、製薬、モバイル活用など、得意分野の深化。富士通との連携強化
- **富士通社内システム**
Topjax SolutionとOh-Pa 1/3を軸に推進。
JETBIなどの事例をグループ外へ横展開(富士通リファレンスモデル)
- **民需・官公庁系業種システム**
当社得意技術を軸に、富士通との協調のバランスを取りながら推進

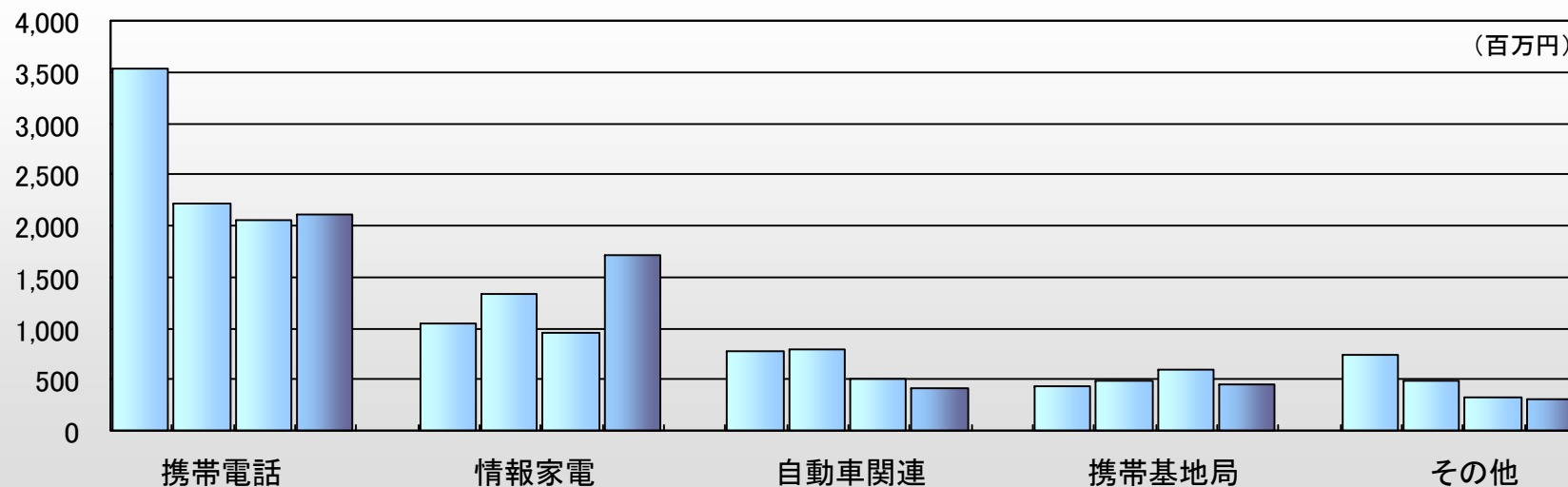
※ CAP 21:建設業向けERPソリューション Topjax Solution:富士通の開発フレームワーク Oh-Pa 1/3 :オンメモリデータベース製品
JETBI:データ可視化による対話型高速情報活用システム(エンジンはOh-Pa 1/3)

エンベデッドシステム<カテゴリー別売上>



売上実績・予想

・左から 07、08、09、10(年度)



■ 携帯電話分野

売上減少に底打ち感。スマートフォン関連にも期待

■ 情報家電

ニコングループとの合併会社などが順調に事業拡大

■ 中国子会社の活用により品質とコストを両立、競争力を強化

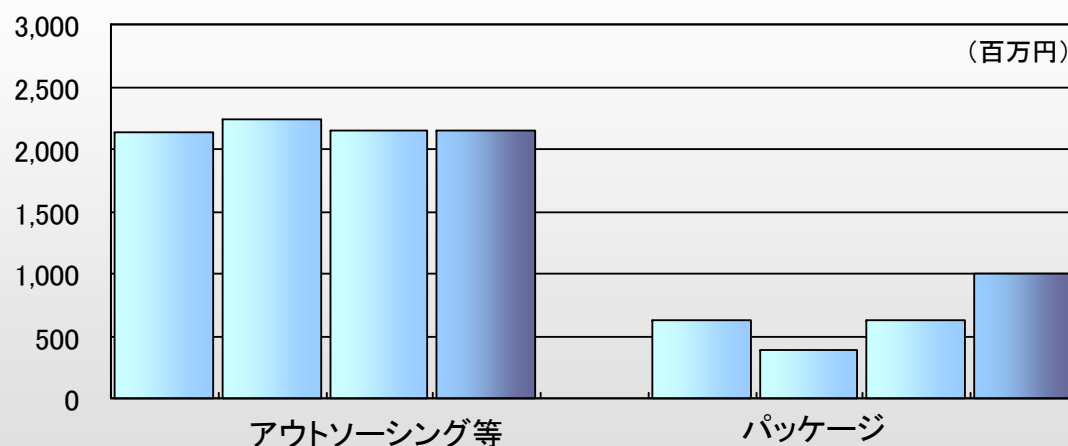
■ 受注安定化とノウハウ蓄積のために製造メーカーとの業務提携を拡大

パッケージ&サービス<製品・サービス別売上>



売上実績・予想

・左から 07、08、09、10(年度)



※2010年4月に事業区分の見直しを行っており、一部を現区分に組替えております

■ パッケージ販売

・『FENCE』シリーズ: 既存大口顧客のリプレイス需要により伸張。

スマートフォン関連ビジネスの対応強化

■ アウトソーシング

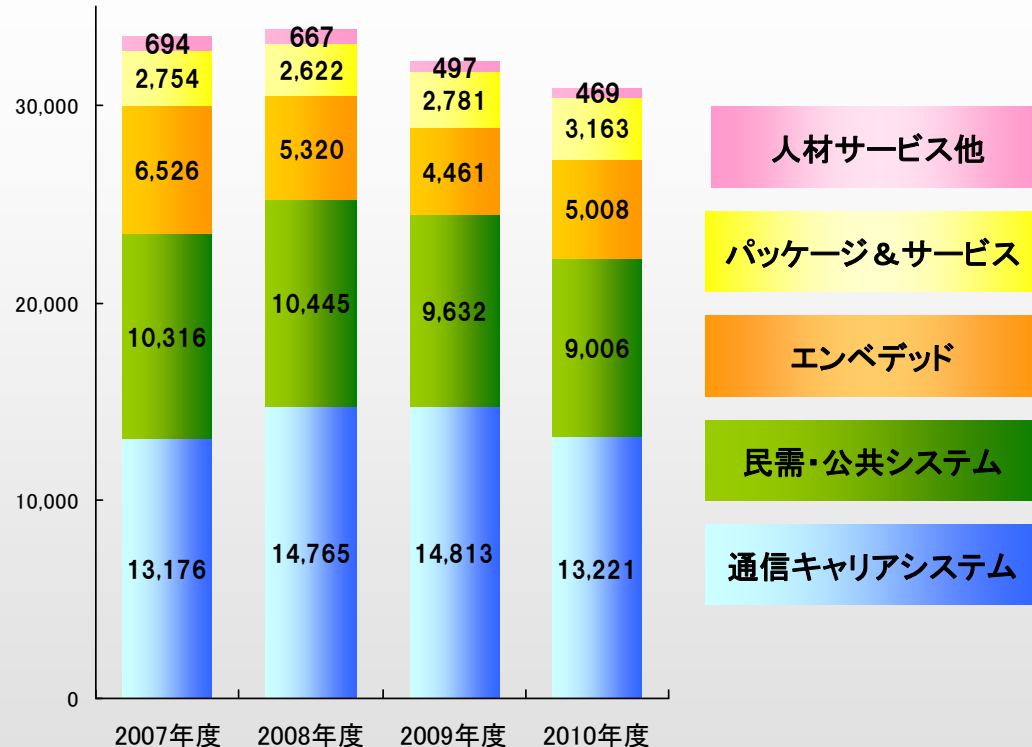
・手厚い保守 運用サポートが武器。堅調な推移

・当社の持っているノウハウを活用、構築から運用まで一貫したサービスの提供

各事業の売上・営業利益 経年比較

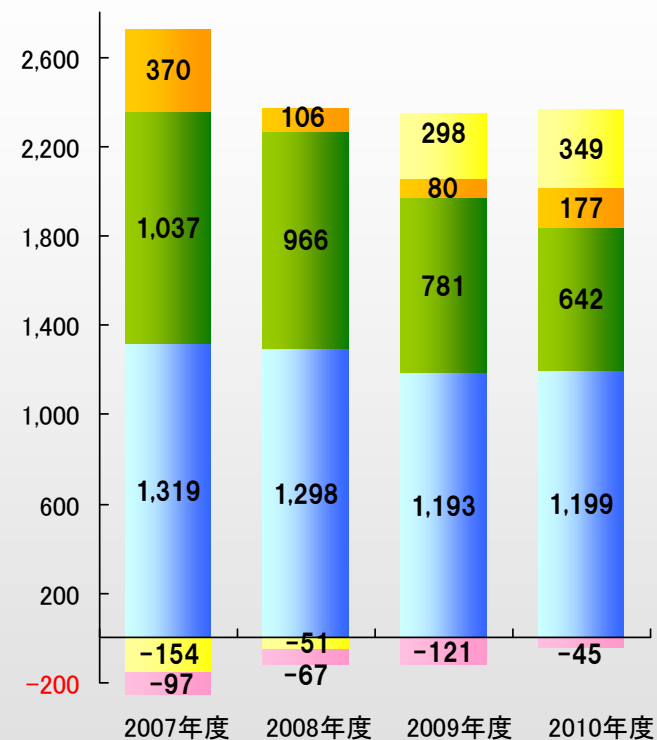
売上

(百万円)



営業利益

(百万円)

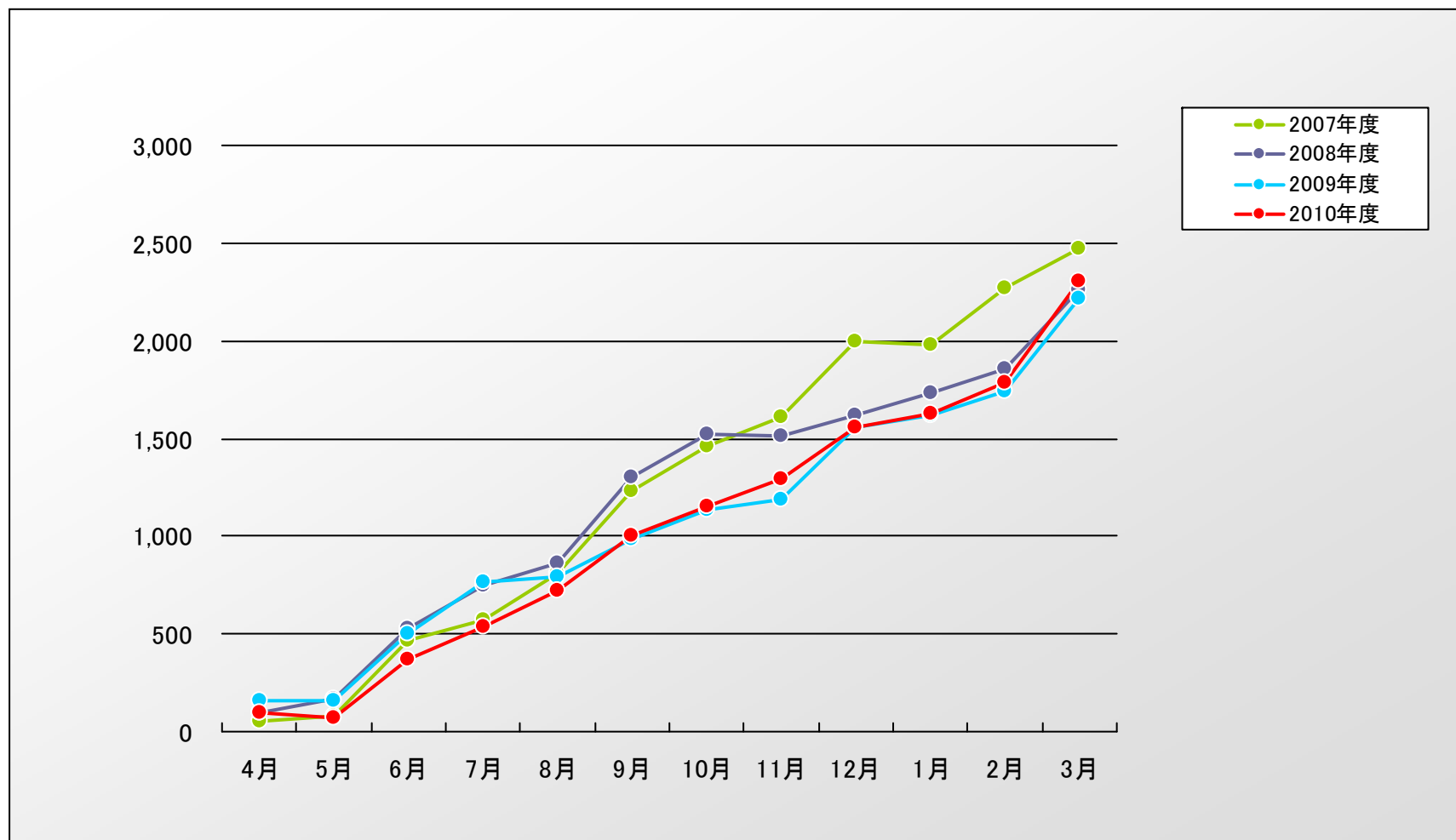


■ 開発の標準化・効率化による原価改善と不採算プロジェクトの低減により利益を確保

営業利益の月次推移 経年比較(全社)



(百万円、すべて個別の数値)



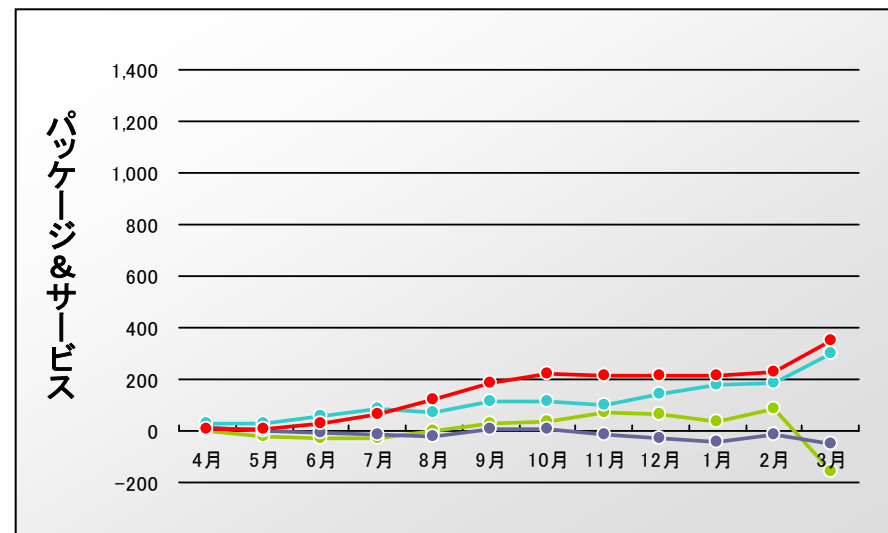
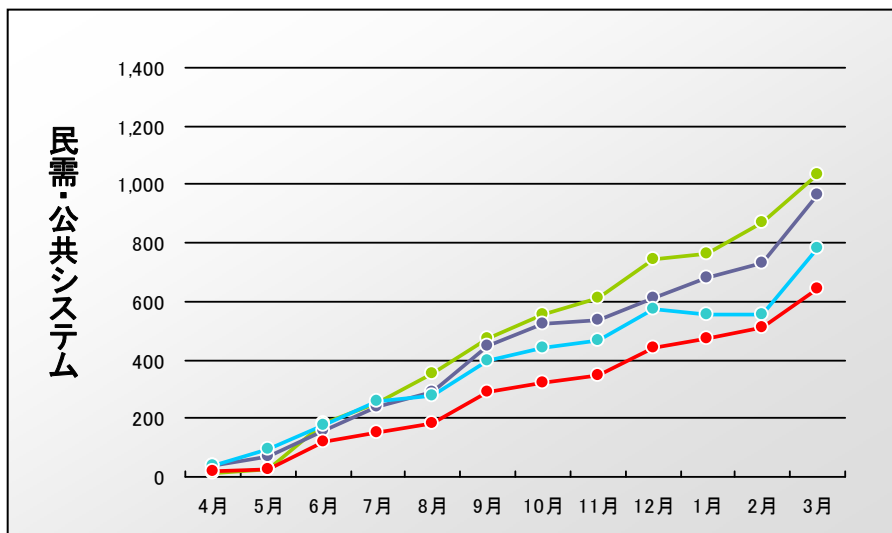
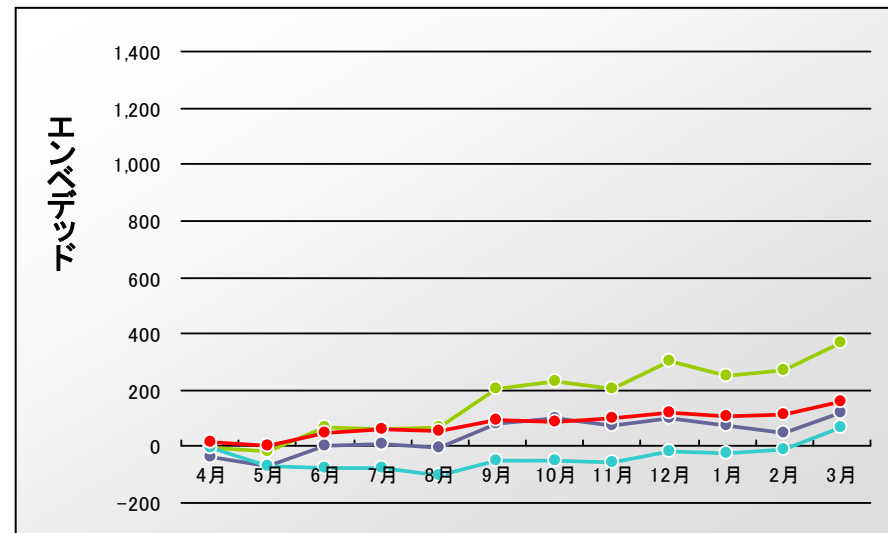
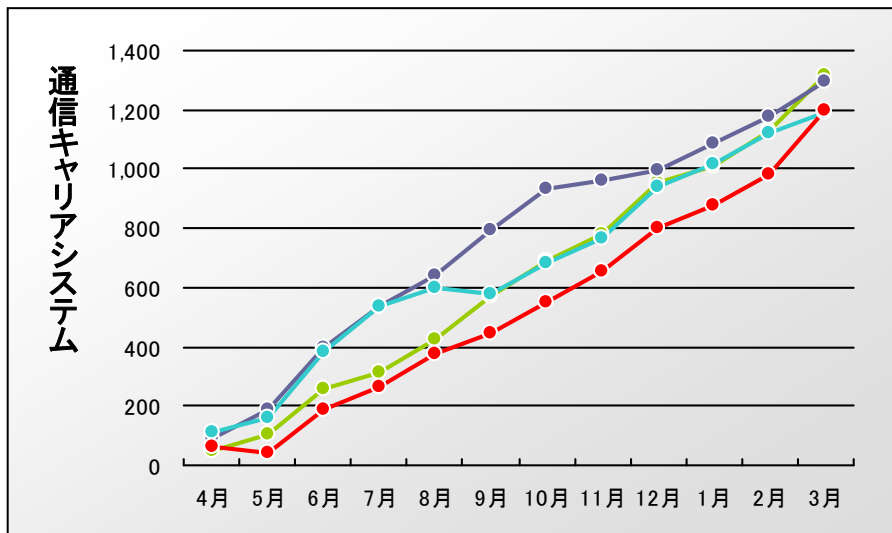
■ 2010年度は2007年度に次ぐ利益水準を確保

営業利益の月次推移 経年比較(本部別)



● 2007年度 ● 2008年度 ● 2009年度 ● 2010年度

(百万円、すべて個別の数値)



2011年度の業績及び配当の予想に関しましては、震災の影響の見極めが困難な状況にあり、当社最大の取引先である富士通においても業績予想の開示を控えていること等を勘案し、現時点では未公表としております。

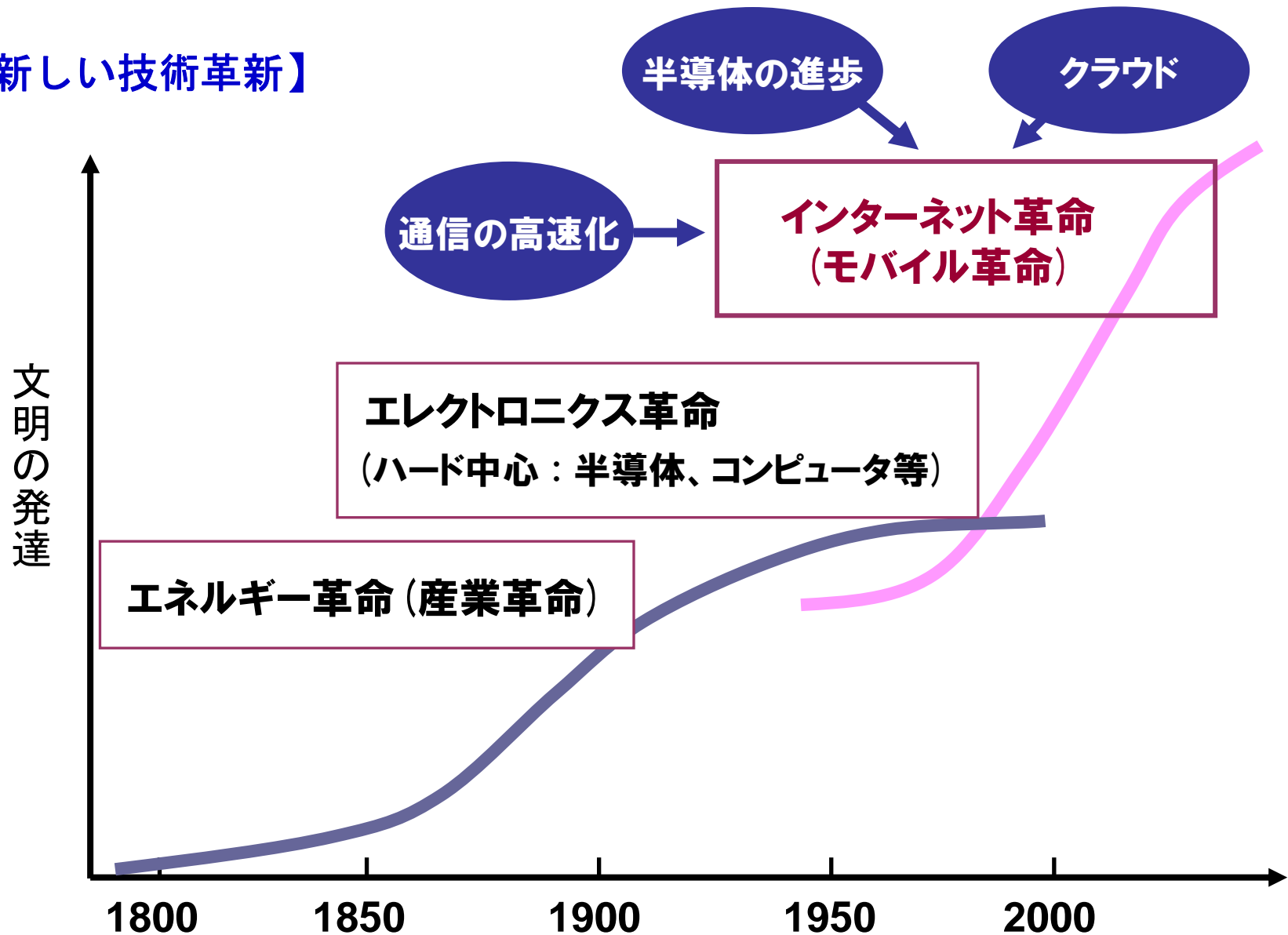
今後、諸環境を見極めながら、5月末までには公表する予定であります。

トピックス

- スマートフォン関連ビジネス
- Solar Cubicについて
- FENCEシリーズ、Oh-Pa

【前提】大きな流れ -メガ・トランスフォーメーション

【新しい技術革新】




1. スマホ(タブレット)とセキュリティ

- ・ ビジネスユースとなると不可欠

2. スマホ(タブレット)のアプリ開発

- ・ 端末限定は不可能(特にB to C)
- ・ 端末側のアプリ開発をどうするか

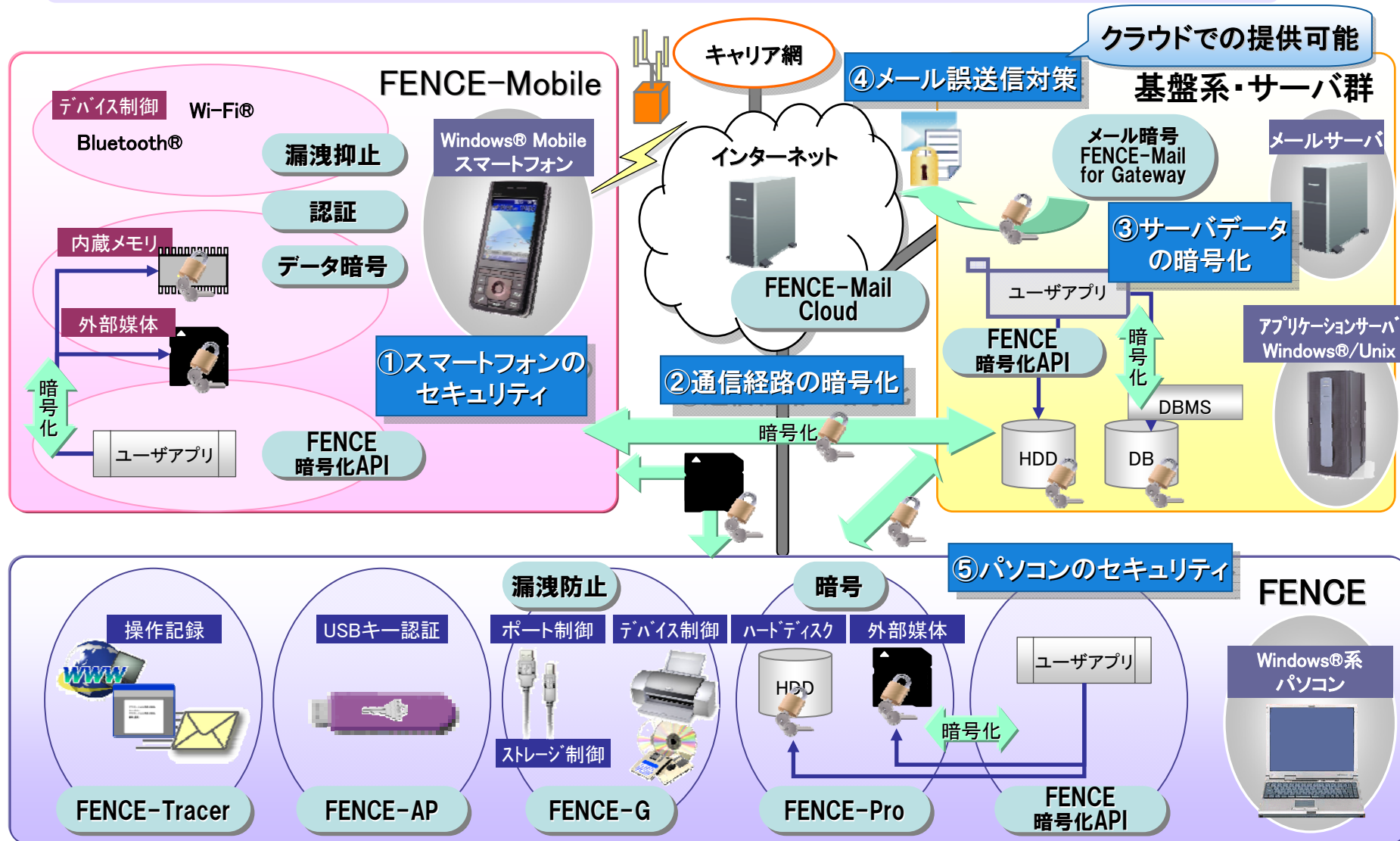
3. スマホ(タブレット)の活用シーン

- 
- ・ OSが複数
(Android™、iOS
Windows®)
 - ・ 画面サイズが多様化
(大きさ、たてよこ)
 - ・ スマホ(タブレット)の
急速な性能向上

システム全体のセキュリティ(暗号化技術を中心に)



スマートフォンからサーバまで一気通貫のデータ暗号化を実現

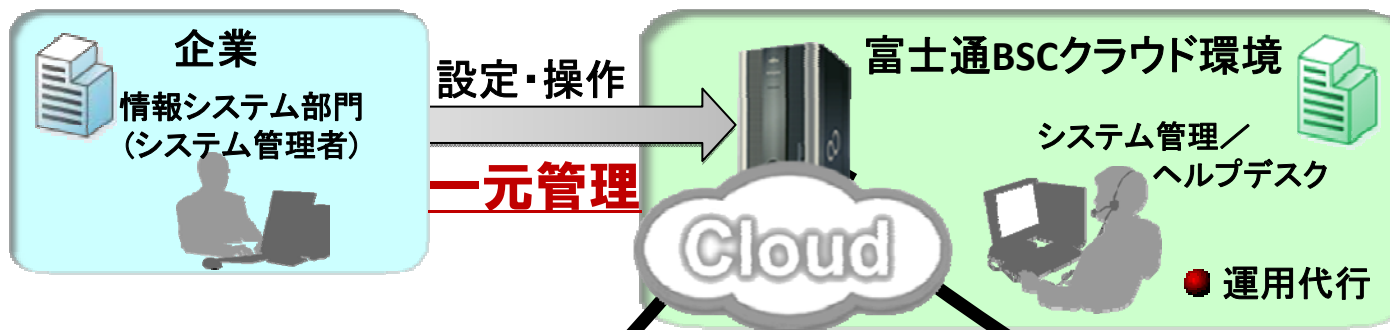


スマホ(タブレット)のセキュリティ管理サービス

端末のロック、カメラ機器の抑止、端末の初期化、などをクラウドで提供
マルチキャリア、マルチデバイスを一元管理

- Android™
- iOS
- Windows® Mobile

- Windows® XP
- Windows Vista®
- Windows® 7

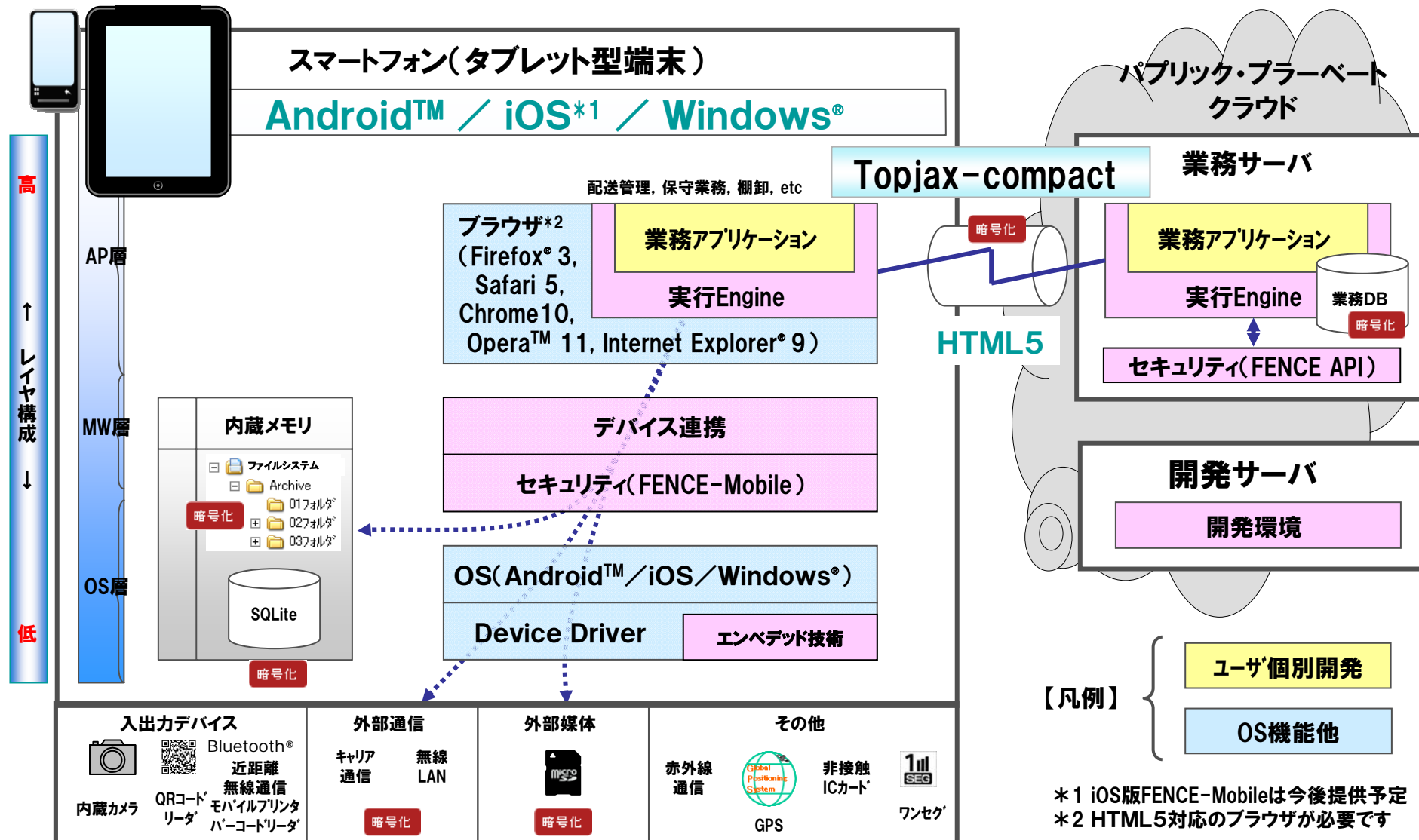


多彩なセキュリティ管理機能 遠隔コントロール

<p>盗難/紛失対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期化 データ消去 端末初期化 端末ロック リモート ロック リモート ロック 	<p>マルウェア等の侵入対策</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ Wi-Fi® Bluetooth® 業務に不要なデバイス利用不可 	<p>業務外操作制限</p> <ul style="list-style-type: none"> 無用な電話の発信制限 発信制限 業務に不要なアプリケーションの起動制限 アプリ利用制限 	<p>次期エンハンス機能</p> <ul style="list-style-type: none"> GPSによる位置情報取得 URL接続制限 アプリケーション情報管理 <p style="text-align: center;">2011年夏に機能追加実施</p>
--	---	--	---

スマホ(タブレット)のアプリ開発

Topjax(高品質・ローコスト開発)+セキュリティ



HTML5 とは



HTML5 は、W3C および WHATWG が HTML4 に代わる次世代の HTML として策定を進めている HTML 仕様です。

HTML5 は JavaFX, SilverLight, Flash を代替する次世代インターネット RIA 技術です。従来のプラグイン型 RIA が抱える課題を HTML5 が解決します。



HTML5

- ・OS のバージョンや機種の違いをブラウザで吸収可能
- ・フリックやマルチタッチなどリッチ GUI の実装可能
- ・オフライン動作が可能
- ・クライアントアプリケーションの配布不要

HTML5 の追加機能

- ・文書構造化タグの追加
- ・マルチメディア再生機能強化
- ・アプリケーションキャッシュ
- ・クロスドキュメントメッセージング
- ・WebWorkers
- ・WebStorage, WebSQL Database
- ・WebSocket
- ・Geolocation とデバイス制御
- ・ドラッグ & ドロップ と FileAPI

W3C(World Wide Web Consortium): World Wide Web で使用される各種技術の標準化を推進する為に設立された標準化団体。

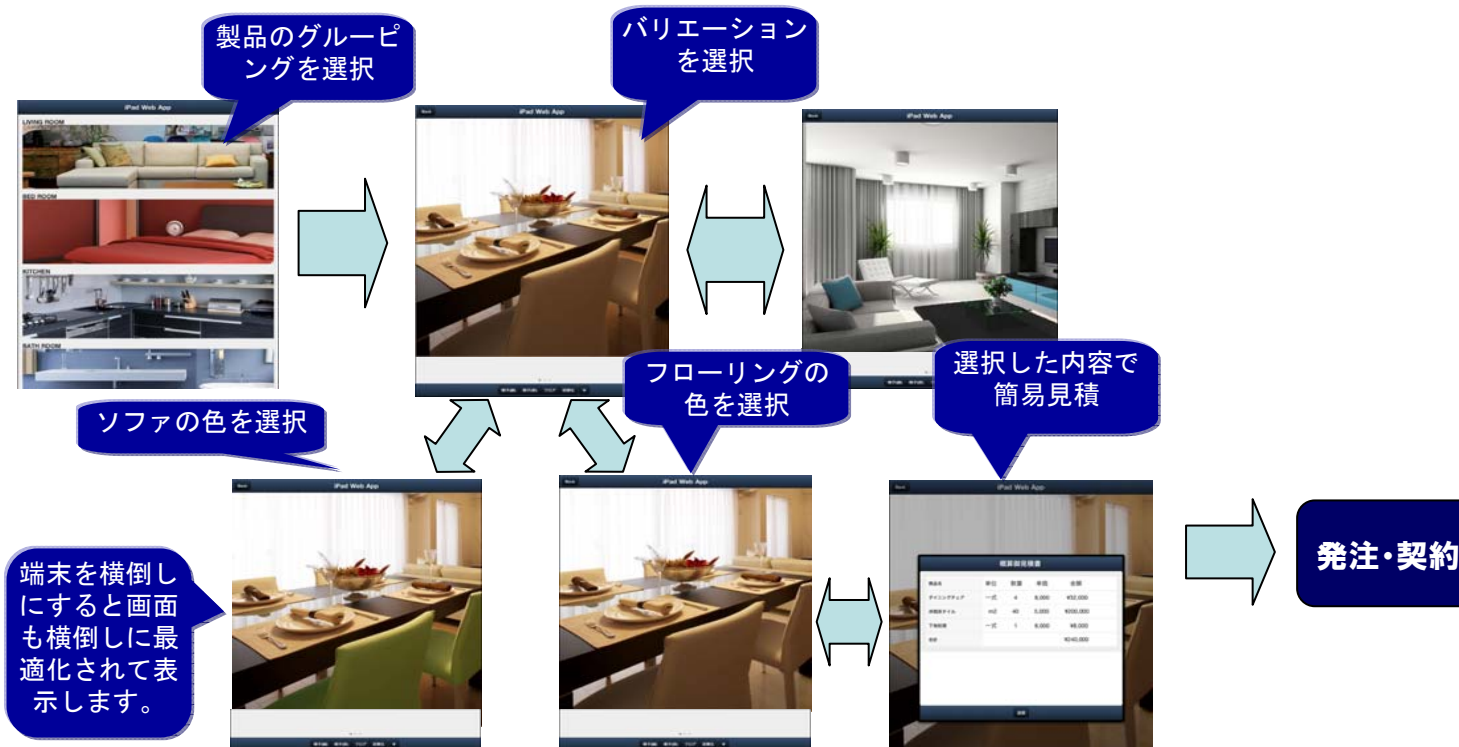
WHATWG (Web Hypertext Application Technology Working Group) : HTML の開発やその関連技術に興味を持つ人々のコミュニティー。Apple、Mozilla、Opera により設立。

スマホ(タブレット)の活用シーン(1)

住宅資材会社様向け営業支援システム

紙のカタログは、重い かさばる 検索が弱い 新モデルへの切り替えが手作業・・・
「顧客向け説明⇒見積もり⇒在庫確認⇒発注/契約」が端末一台でOK

インテリジェント電子カタログイメージ



※iPad、AndroidTablet、windowsスレートPC

スマホ(タブレット)の活用シーン(2)

Bメーカー様 販売店向け商品発注システム

販売店のオーナー(担当者)はさまざまな人たちがいる(端末の操作に不慣れな高齢者など)。店にPCがあるとは限らない。端末を統一させるのは不可能・・・
これらの課題を解決

① EOS (Electronic Ordering System) 画面イメージ



トピックス

- スマートフォン関連ビジネス
- Solar Cubicについて
- FENCEシリーズ、Oh-Pa

Solar Cubic 紹介



LED Lantern with FM radio

全4方向の高輝度照明



特長

- ・実用的な明るさ
- ・長時間の点灯(最大100時間程度)
- ・FMラジオ受信
- ・携帯電話の充電用端子付

第1回 スマートフォン&モバイルEXPOにて、当社ブース来場者のうち抽選で30人の方々にプレゼントいたしました。
本製品は、日本・中国で発売の予定

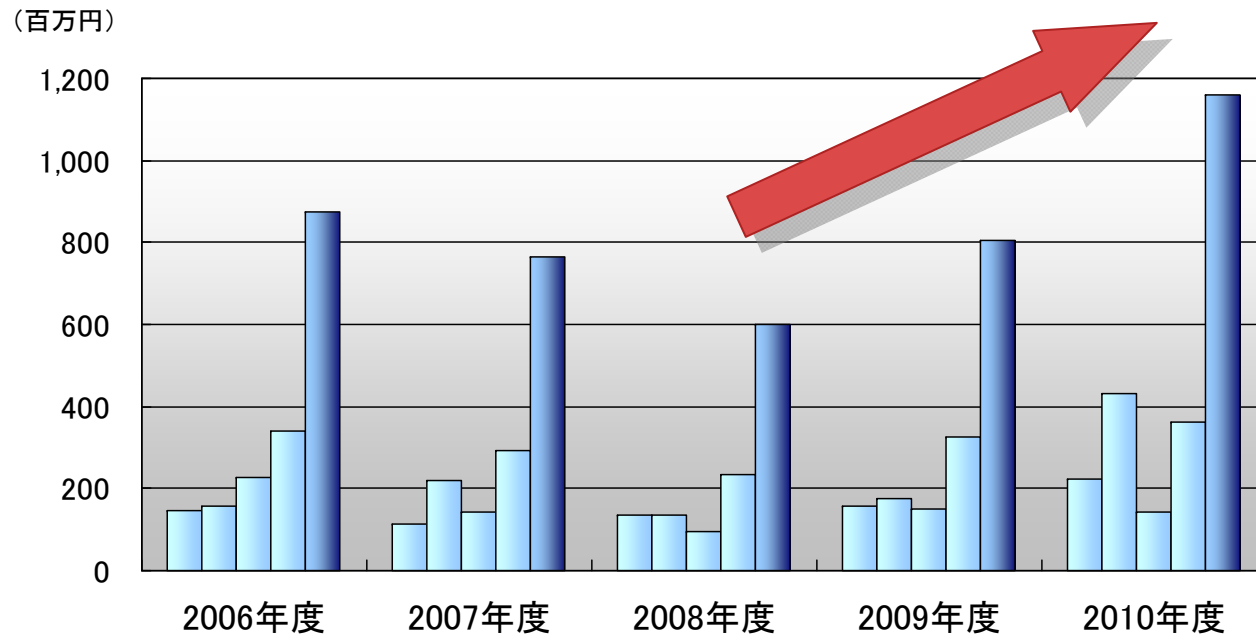
トピックス

- スマートフォン関連ビジネス
- Solar Cubicについて
- FENCEシリーズ、Oh-Pa

『FENCE』シリーズ売上状況と販売施策

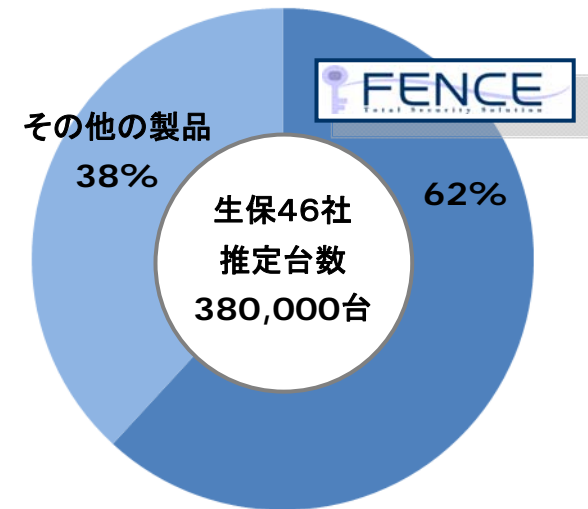


※左から1Q、2Q、3Q、4Q、年度合計の順
金額はパッケージと導入に伴うSIの合計



＜ご参考＞

『FENCE』シリーズ (FENCE-Pro) の
生保業界での導入実績



(当社調べ)

1. Windows7需要に伴う商談の取り込み
2. 強みを持つ大手保険会社等のリプレース需要に対応
3. スマートフォン向けの強化やクラウド提供など、製品ラインナップの拡充

『Oh-Pa 1/3』販売実績(主要顧客)一覧



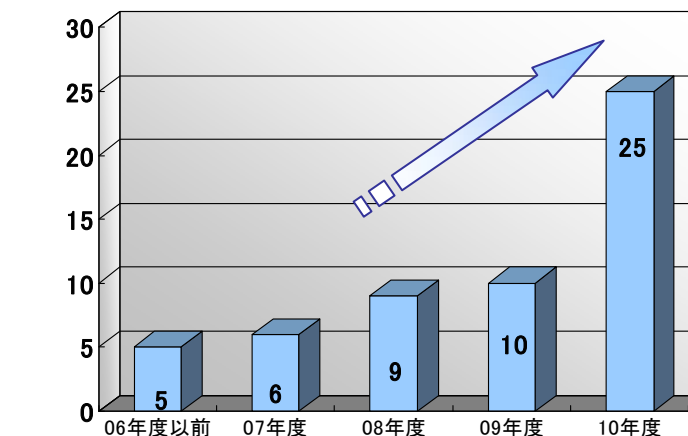
顧客例	販売種別	適用種別	本格稼動時期
サークルKサンクス(コンビニ)	3	高速バッチ処理、高速参照	2007年4月
輸送会社	3	高速バッチ処理、非定型分析	2007年7月
電気メーカー[人事・人材システム]	3	高速参照	2006年12月
大手銀行	3	プロダクトの販売のみ	2007年3月
カスタマー・コミュニケーションズ (マーケティング情報サービス)	3	高速バッチ処理	2008年2月
日本ケンタッキー・フライド・チキン	3	非定型分析	2008年6月
製造業[営業部門DWH]	3	高速バッチ処理	2008年8月
小田急百貨店	3	高速バッチ処理	2009年3月
通信業	3	高速バッチ処理	2009年8月
飲料メーカー	3	高速バッチ処理	2009年9月
ネットレイトィングス	3	非定型分析、高速化	2009年11月
電子部品製造業	1	情報活用の高度化	2010年7月
機器メーカー	1	検索システムのエンジン	2010年7月
国立大学法人	3	ERP	2011年4月
大手銀行	3	商品別損益等算出システム	2011年7月(予定)
大手進学塾	3	高速バッチ処理	2011年7月(予定)

など(敬称略)

販売種別
 1・・・JETBI
 2・・・Sagent
 3・・・単体売り+SI

導入済みライセンス数 : 160ライセンス
 (2011年3月末現在)

【受注顧客数 年度推移】



商談中顧客数 : 18社
 (2011年3月末現在)

BCLについて

BCL概要および拠点

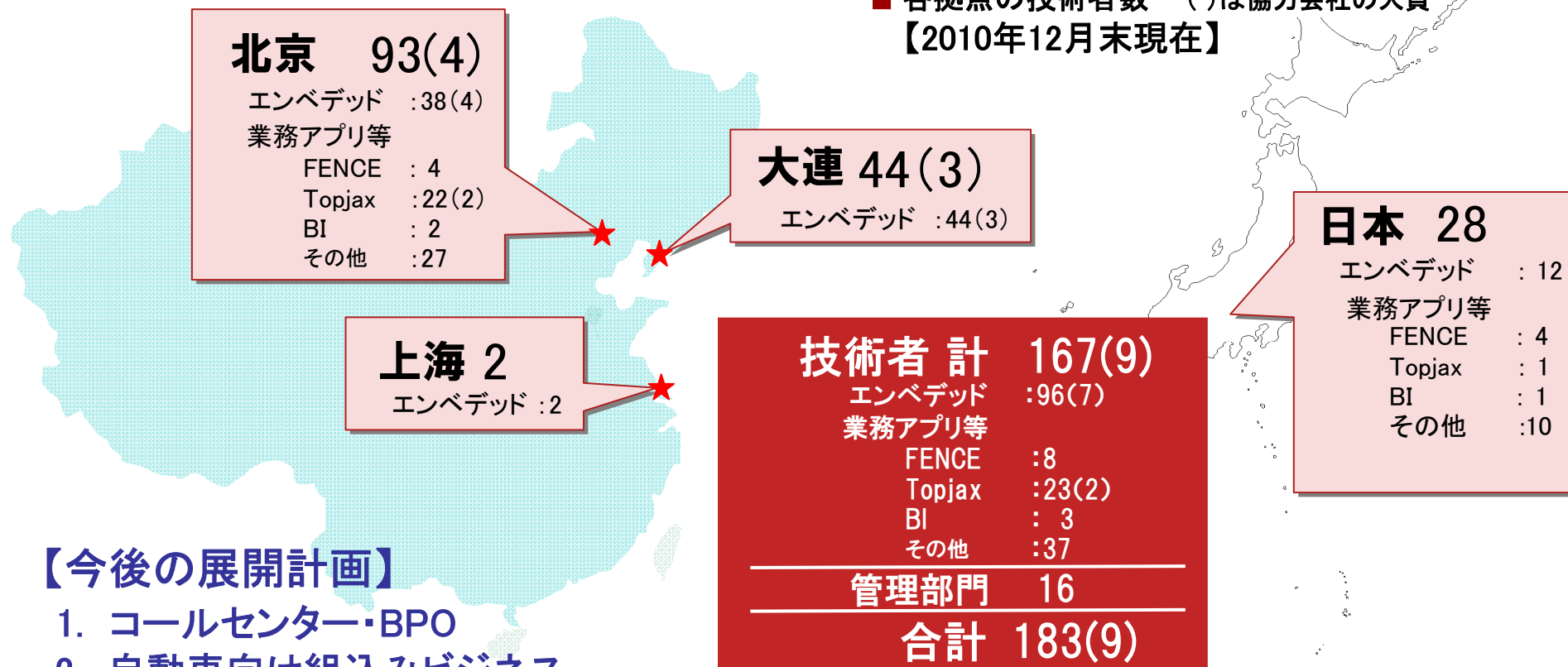


BCL: 北京思元软件有限公司(連結子会社)概要【2010年12月末現在】

- 商号 : 北京思元软件有限公司(BCL)
- 住所 : 中国北京市海淀区
- 董事長 : 室町義昭(富士通BSC専務)
- 資本金 : 1億40百万円
- 總經理 : 徐雷(SEC※ 董事長)
- 従業員 : 183名(2010年12月末)
- 設立 : 1992年
- 売上高 : 49,777千元(2010年)

※SEC: 北京中科院软件中心有限公司、中国科学院関係企業

■ 各拠点の技術者数 ()は協力会社の人員 【2010年12月末現在】



【今後の展開計画】

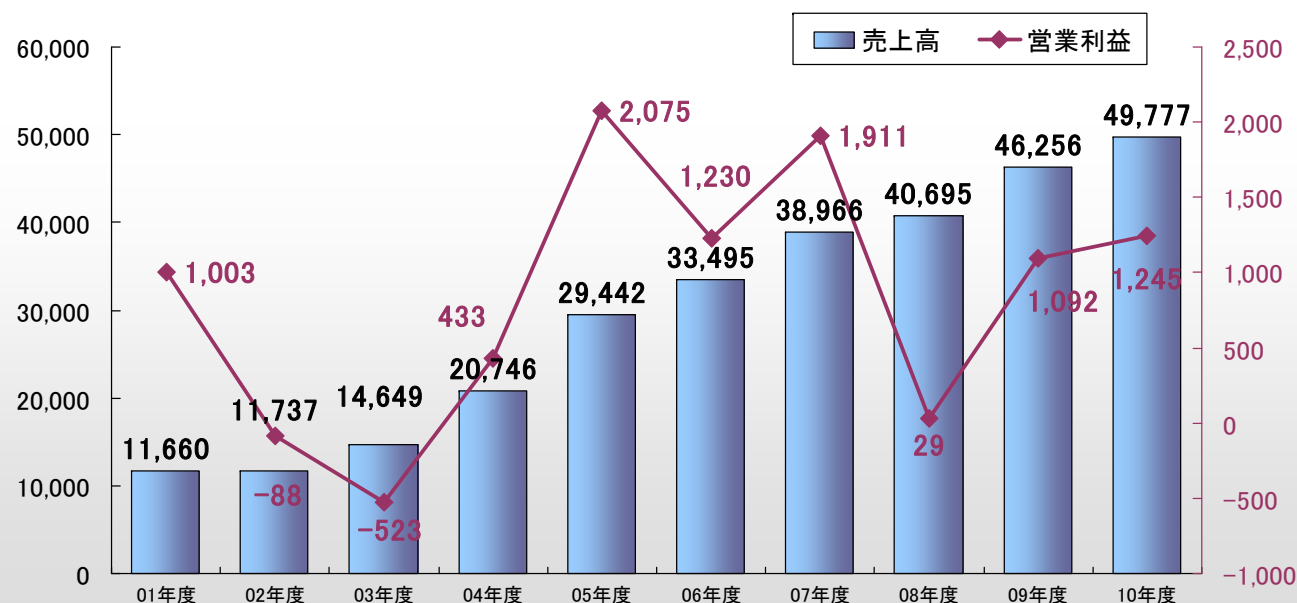
1. コールセンター・BPO
2. 自動車向け組込みビジネス

BCLの売上高・要員数 推移

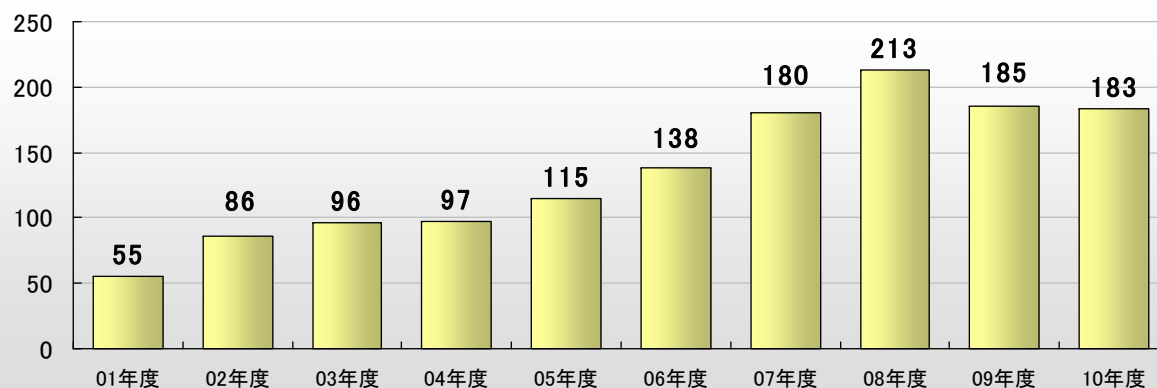


売上高/営業利益

(単位: 千元)



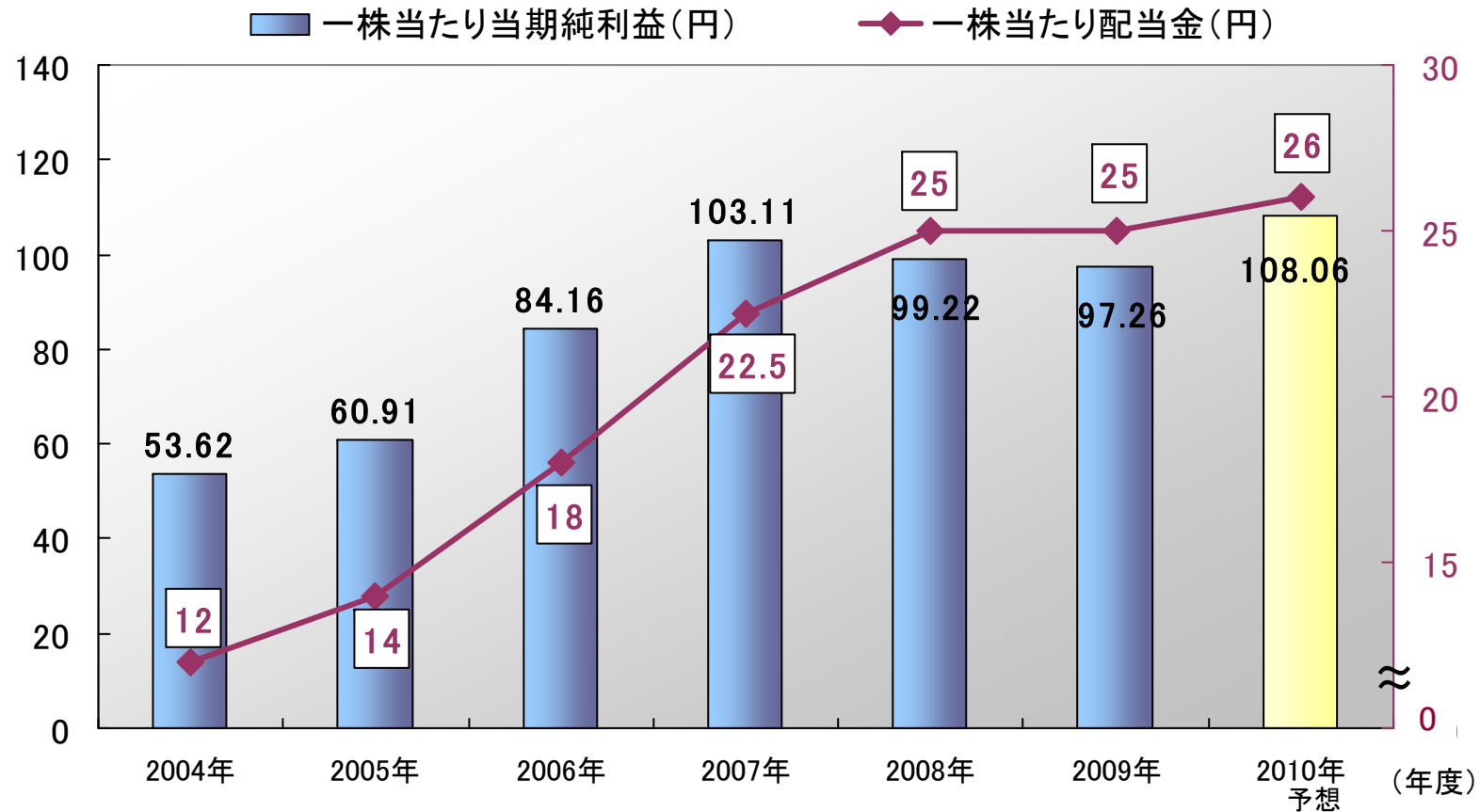
要員数(人)



【ビジネスの方向性】 1.エンベデッドシステムを軸に 2.中国国内市場を開拓

配当について

配当について



配当性向	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年 予想
	22.4%	23.0%	21.4%	21.8%	25.2%	25.7%	24.1%

■ 今期26円配当を見込む

経営方針について ～事業展開のキーワード～

2010年度

1.パラダイムシフト

- クラウド ⇒ 「CAP21」, 「BillingSaver」, 「FENCE-Mail For Gateway」
IDC/BPO (ITO)

2.特化技術

- エンベデッドシステム
- オンメモリ ⇒ 「Oh-Pa 1/3」
- モバイル ⇒ 「MobileUnity」
- フレームワーク ⇒ 「Topjax Solution」

3.グローバル展開

- 中国

4.組織／人材

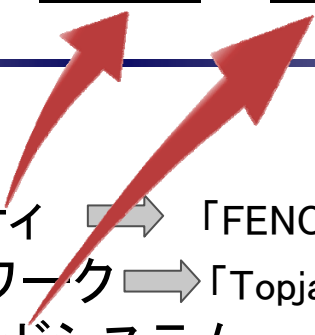
- プロマネ／技術教育

2011年度

1.パラダイムシフト

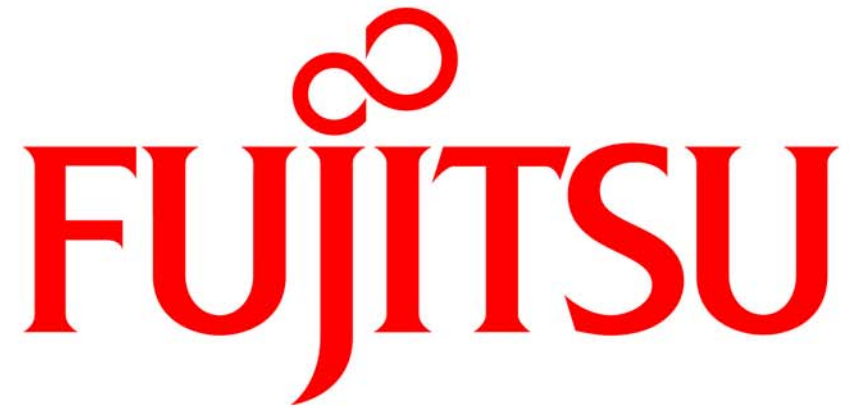
- 東日本大震災による社会構造の変容の見究め
- クラウド + スマホ + 中国新事業

2.特化技術

- セキュリティ ⇒ 「FENCE」
 - フレームワーク ⇒ 「Topjax + HTML5」
 - エンベデッドシステム
 - オンメモリ ⇒ 「Oh-Pa 1/3」
- 

3.組織／人材

- 売上の確保
- プロマネ／技術教育



shaping tomorrow with you

《本資料に関するご注意》



本資料の目的は、当社への理解を深めていただくための一般的なIR情報を提供することで、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、情報利用者ご自身の判断に基づいて実施願います。

提供情報のうち、将来の業績等に関する見通しは歴史的事実ではありません。資料作成時における一定の前提に基づいて作られていますので、実際の業績は多様な不確定要素により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。

また、掲載情報については細心の注意を払っていますが、内容についていかなる保証を行うものではなく、本資料の情報を使用したことによって生じたあらゆる障害や損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

【商標について】記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。